

# 日本BS放送株式会社

## 2024年8月期 決算説明会

2024年10月24日

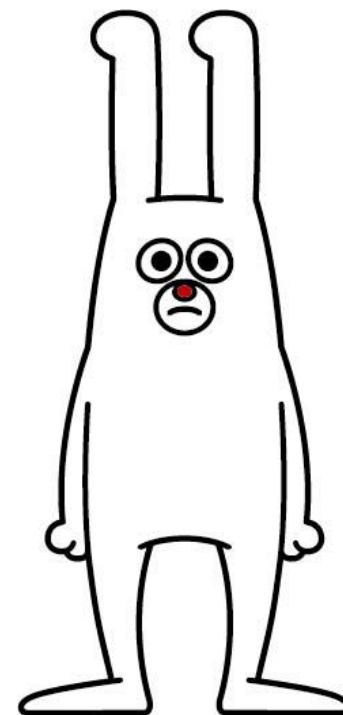


証券コード: 9414

信頼できるメディアを目指す

Value4の推進

市場との対話を強化



I	会社の基本情報	P4
II	2024年8月期 決算業績	P14
III	2025年8月期 計画(連結・個別)	P32
IV	基本戦略	P35
V	株主還元	P38

I	会社の基本情報	P4
II	2024年8月期 決算業績	P14
III	2025年8月期 計画(連結・個別)	P32
IV	基本戦略	P35
V	株主還元	P38

2022年に開局15周年を迎えた、全国無料のBSテレビ局です。

## 会社概要

本社	東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地
事業内容	全国無料のBSハイビジョン放送“BS11” チャンネルの運営
代表者	代表取締役会長 齋藤 知久 代表取締役社長 近藤 和行
設立	1999年8月
資本金	41億9千万円（2024年8月31日現在）
従業員数	132名（連結）（2024年8月31日現在）

## 沿革

1999年8月	株式会社ビックカメラにより、衛星放送の番組及び普及に関する調査研究を目的として設立
2000年12月	BSデジタルデータ放送開始
2007年12月	BSデジタルハイビジョン放送(BS11)開始
2010年 4月	一般社団法人日本民間放送連盟に入会
2014年3月	東京証券取引所市場第2部へ上場
2015年3月	東京証券取引所市場第1部へ上場
2018年1月	理論社・国土社の株式を100%取得し完全子会社化
2022年4月	東京証券取引所スタンダード市場へ移行



## <経営理念>

質の高い情報を提供することで  
人々に感動を与え  
幸せな社会づくりに貢献します。

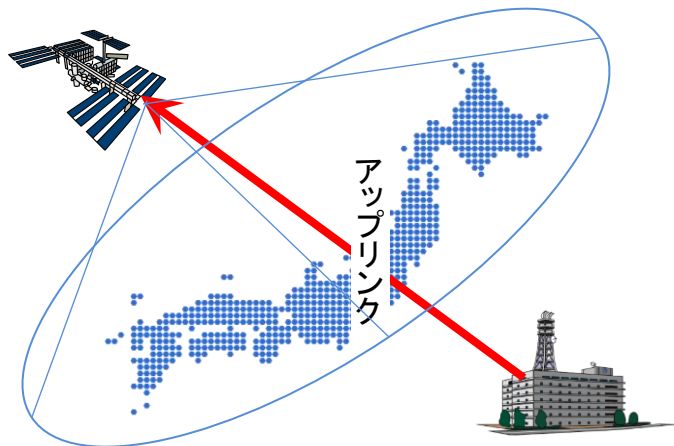
## <経営ビジョン>

豊かで 癒される 教養・娯楽番組と  
中立公正な 報道・情報番組を発信し  
『価値ある時間』 を約束します。

## <行動指針>

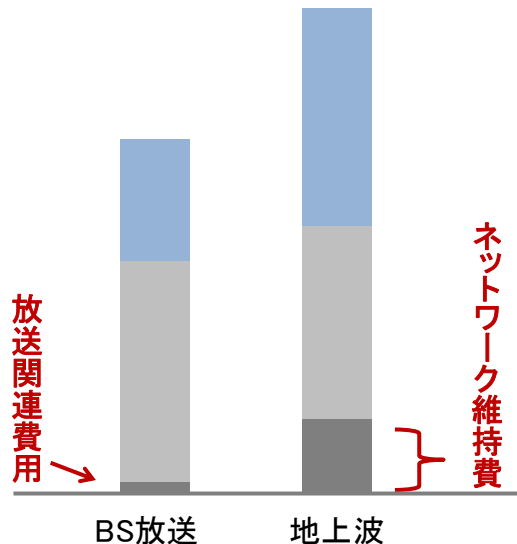
- ・ 公共的使命を認識し社会の信頼に応えます。
- ・ 良質なコンテンツの創造を追求します。
- ・ 常に新しい可能性に挑戦します。

## 無料BS放送

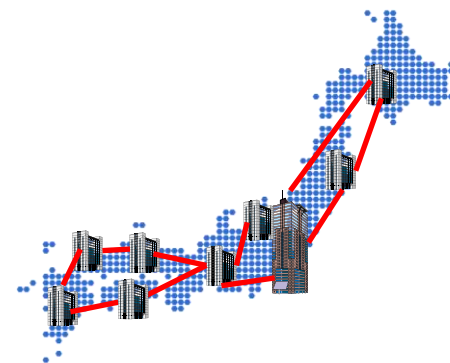


- ・日本全国に電波の送信が可能
- ・ネットワークの構築が不要

## コスト構造の比較



## キー局系列の地上波放送



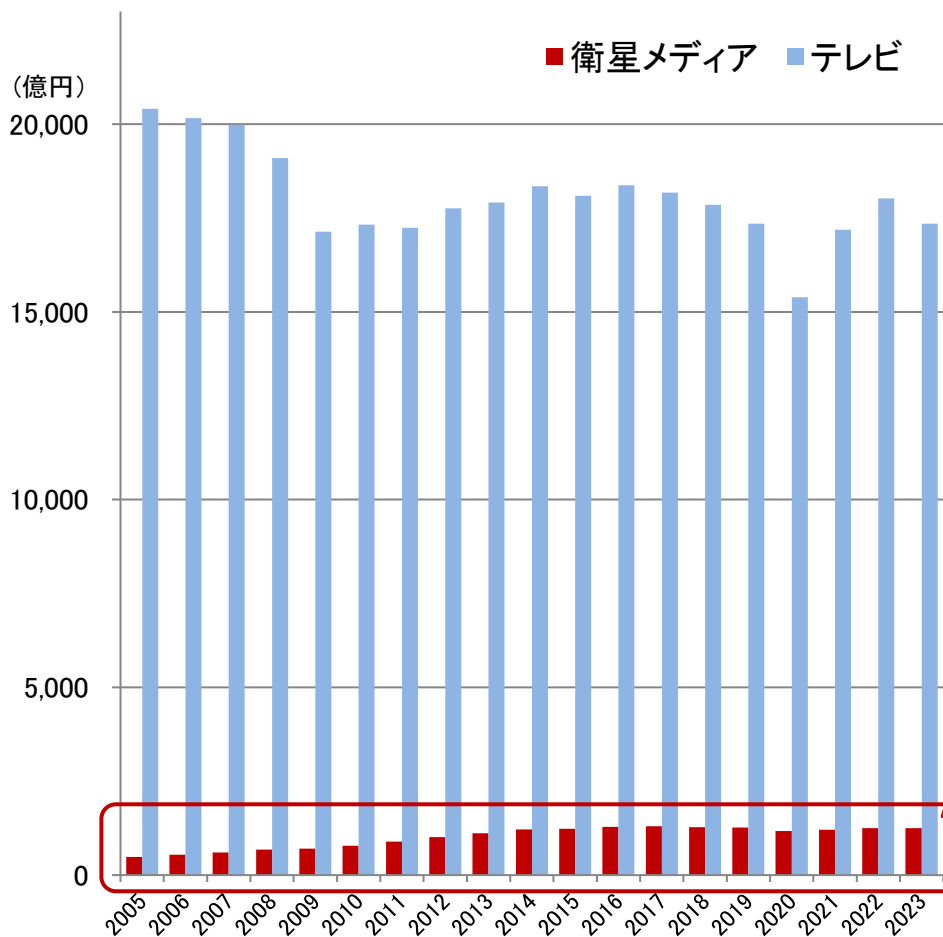
- ・少数チャンネル地域の存在
- ・嵩むネットワーク維持費

## 全国無料BS放送局

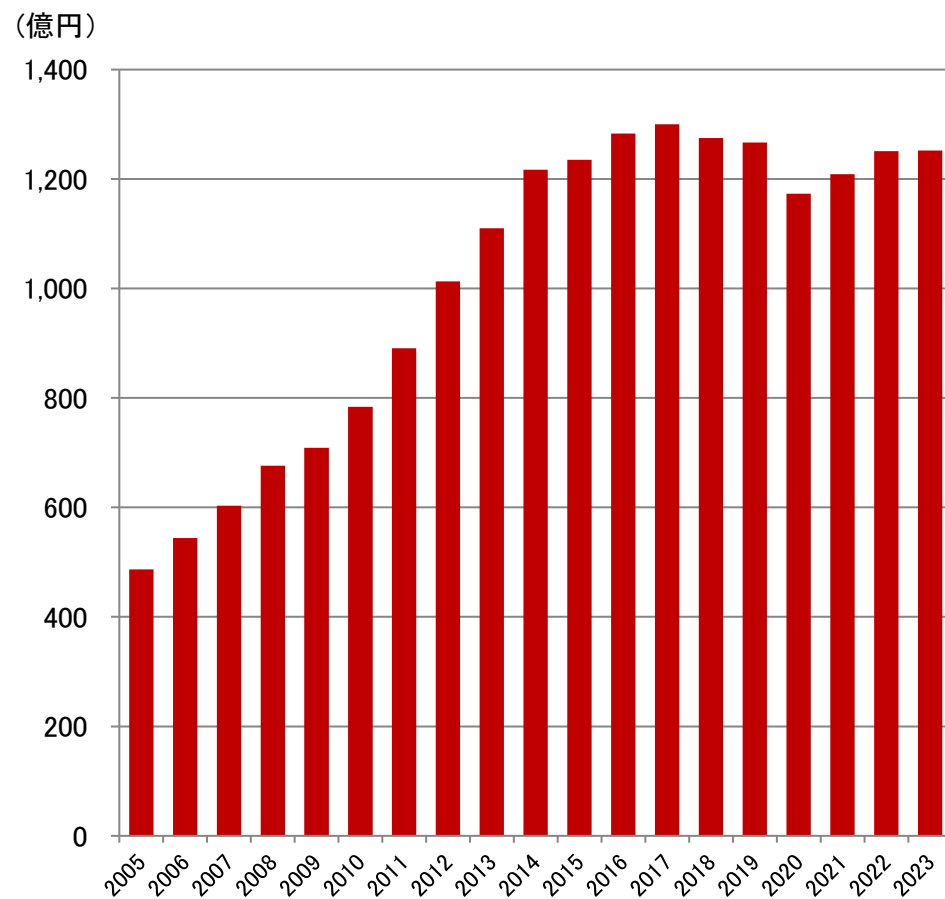
グループ会社	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ	ビックカメラ	三井物産	松竹・東急	ジャパネット	吉本興業	放送大学
放送局	BS日テレ	BS朝日	BS-TBS	BSテレ東	BSフジ	<b>BS11</b>	BS12	BS松竹東急	BSJapanext	BSよしもと	BSキャンパスex BSキャンパスon
系列	地上波系列					独立系			公共		
開局年月	2000年12月					2007年12月		2022年3月		2011年11月	
グループ	“無料BS放送6局”として視聴状況調査を実施（～2020年3月）、 共同で『メディアガイド』を作成するなどBS放送の価値向上に向けた 取り組みを実施。										

2020年のコロナ禍を経て2021年以降は回復傾向

媒体別広告費



衛星メディア広告費



(出所) 電通「2023年 日本の広告費」 ※ 衛星メディアにはBS放送、CS放送、ケーブルテレビが含まれる



## BS11の特長

- ①独立系だからこそ**自由なコンテンツ制作・展開**が可能！
- ②『**ドラマ**』・『**アニメ**』・『**競馬**』など多岐にわたるラインナップ編成により、**幅広い年齢層の視聴者層**が存在！
- ③家電量販店**ビックカメラ**を親会社に持つため、番組・CMの放送等に加えて、**消費者へのダイレクトなコンタクトポイント**が持てる企画が可能！



## 理論社・国土社との取組

グループ会社となっている（株）理論社・（株）国土社と協業し、映像コンテンツを制作、放送や配信を積極的に実施。

### 株式会社理論社

1947年創業 書籍・雑誌等の編集、制作、出版及び販売



第70回青少年読書感想文全国コンクール  
中学校の部 課題図書

### 株式会社国土社

1937年創業 主に児童図書・教育図書の刊行

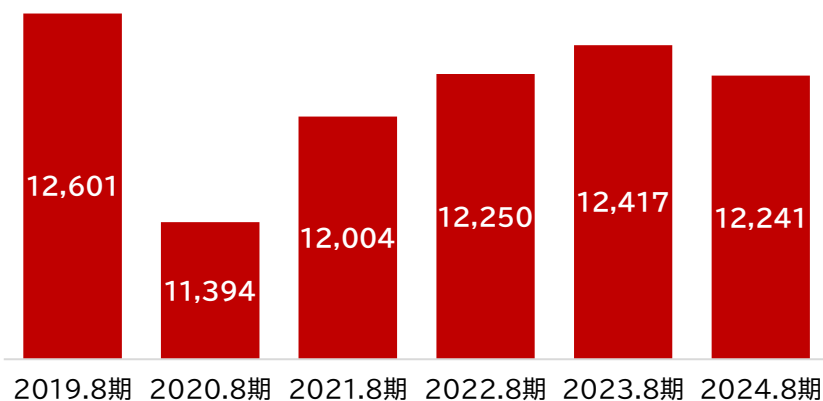


第70回青少年読書感想文全国コンクール  
小学校高学年の部 課題図書

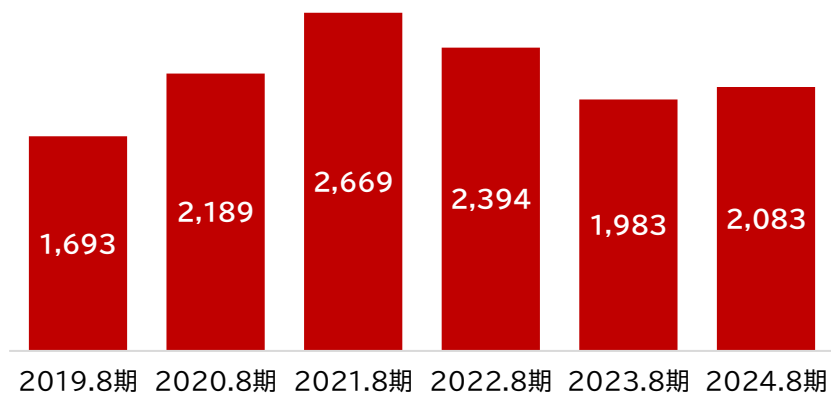
### 協業制作コンテンツ例



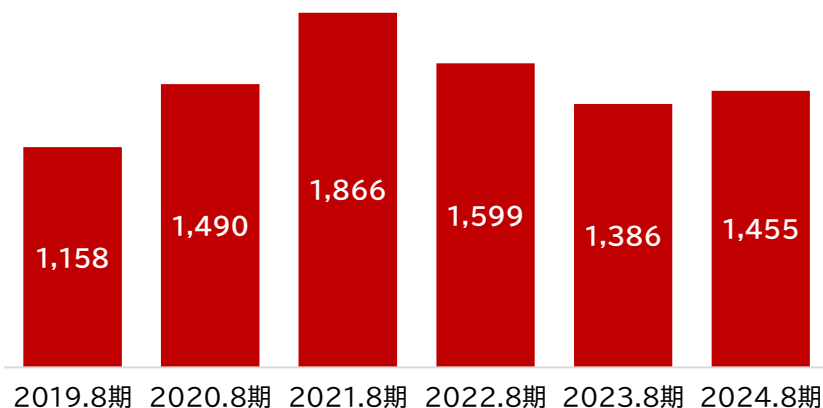
売上高(百万円)



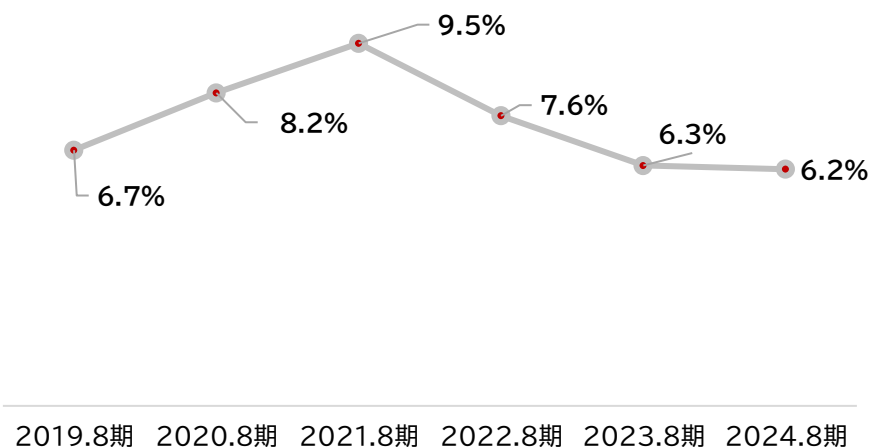
営業利益(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



ROE(%)



人的投資を「人材の多様性による独自性の創出」を目的とした  
成長投資として戦略的に位置付け

人財戦略を支える基本方針  
「社内人材の育成と能力開発」「外部専門人材の活用」「女性活躍推進」

具体的な施策

① ダイバーシティの確保

中途採用者：80%以上

女性社員割合：32.6%

女性管理職割合：22.4%



「コンテンツの多様性」を支える  
「人材の多様性」を重視

② 人材育成

〈重点方針〉

人材の力を高め、コンテンツ中心の  
ビジネスを追求し続ける集団への進化

「Go!Forward」戦略の3本柱

社員がチャレンジできる社内風土の強化

リーダー層のマネジメント力の強化

会社の将来を担う若手社員の成長加速

③ 社内環境整備

社員一人ひとりが持つ力を  
引き出す労働環境

フレックスタイム制度

時短勤務制度

在宅勤務制度

I	会社の基本情報	P4
II	2024年8月期 決算業績	P14
III	2025年8月期 計画(連結・個別)	P32
IV	基本戦略	P35
V	株主還元	P38

2024年8月期 総括(連結)

売上高	12,241百万円 (前期比 1.4%減↓)
営業利益	2,083百万円 (前期比 5.0%増↑)

2024年8月期 総括(個別)

売上高	11,357百万円 (前期比 2.3%減↓)
営業利益	2,057百万円 (前期比 4.4%増↑)





# 貸借対照表/キャッシュ・フロー計算書の概要（連結）

(単位:百万円)

## 貸借対照表

(単位:百万円、下段は構成比)

		2023年8月期末	2024年8月期	
			期末	前年増減額
流動資産		16,669 (67.3%)	17,041 (65.8%)	372
	固定資産	8,086 (32.7%)	8,852 (34.2%)	766
資産合計		24,756 (100.0%)	25,894 (100.0%)	1,138
流動負債		2,018 (8.2%)	2,166 (8.4%)	148
	固定負債	131 (0.6%)	128 (0.5%)	△3
負債合計		2,150 (8.8%)	2,295 (8.9%)	△145
純資産合計		22,606 (91.2%)	23,598 (91.1%)	992
負債・純資産合計		24,756 (100.0%)	25,894 (100.0%)	1,138

## キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2023年8月期	2024年8月期
営業キャッシュ・フロー	1,336	2,468
税金等調整前当期純利益	2,015	2,097
減価償却費	509	606
売上債権の増減額(▲は増加)	△250	94
未払金の増減額(▲は減少)	45	△153
未払い消費税等の増減額(▲は減少)	△89	207
法人税等の支払額	△734	△550
投資キャッシュ・フロー	△1,435	△9,351
定期預金の預入による支出	-	△8,000
有形固定資産の取得による支出	△1,403	△32
投資有価証券の取得による支出	-	△1,309
財務キャッシュ・フロー	△757	△564
短期借入金の返済による支出	△520	△100
配当金の支払額	△355	△462
現金及び現金同等物の増減額	△856	△7,447
現金及び現金同等物の期首残高	14,456	13,599
現金及び現金同等物の期末残高	13,599	6,152

売上高は**11,357**百万円（前期比2.3%減）、営業利益は**2,057**百万円（前期比4.4%増）、  
当期純利益は**1,432**百万円（前期比5.2%増）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2023年8月期	2024年8月期						
		実績	前期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因(前期比)
売上高	11,625 (100.0%)	11,357 (100.0%)	△2.3%	△267	11,900 (100.0%)	△4.6%	△543	(売上高) ・タイム収入…△26百万円 ・スポット収入…△293百万円 ・その他収入…+51百万円
売上総利益	5,558 (47.8%)	5,354 (47.1%)	△3.7%	△204	—	—	—	(段階利益) ・売上高は前期比減収
営業利益	1,970 (17.0%)	2,057 (18.1%)	4.4%	87	1,900 (16.0%)	8.3%	157	<<利益増加の具体的要因>> <u>売上原価:</u> ・編成戦略に基づくアジアドラマ 放送枠の変更による番組 購入費の減少 ・前年実施のスタジオ設備更新 に伴う放送関連費用の反動減
経常利益	1,974 (17.0%)	2,073 (18.3%)	5.0%	99	1,900 (16.0%)	9.1%	173	<u>販売管理費:</u> ・出稿媒体の見直し等による 広告宣伝費の減少
当期純利益	1,362 (11.7%)	1,432 (12.6%)	5.2%	70	1,311 (11.0%)	9.3%	121	

	2023年8月期	2024年8月期				
		実績	増減額	前期比	計画	計画比
売上高	11,625 (100.0%)	11,357 (100.0%)	△267	△2.3%	11,900 (100.0%)	△4.6%
タイム収入	8,288 (71.3%)	8,262 (72.7%)	△25	△0.3%	8,537 (71.7%)	△3.2%
スポット収入	2,563 (22.0%)	2,269 (20.0%)	△293	△11.4%	2,433 (20.5%)	△6.7%
その他	773 (6.7%)	825 (7.3%)	51	6.7%	929 (7.8%)	△11.1%

## 前期比との主な増減要因

### ■ タイム収入（放送事業収入）

通販枠の強化・拡充及び大型スポーツコンテンツのセールス強化を行うも、前期に放送した持込番組の反動減等により、前期比△0.3%微減で着地

### ■ スポット収入（放送事業収入）

前期に引き続き通販スポット市況低迷の影響を受け、前期比△11.4%減少

### ■ その他（放送外事業収入）

イベント事業や配信事業の収入拡大、アニメ制作委員会からの出資配当の増加等により、前期比+6.7%増加

# 主要費用項目実績（個別）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2023年8月期	2024年8月期		
		実績	前期比	主要な増減要因
番組関連費用(原価)	3,940 (33.9%)	3,855 (33.9%)	△2.2%	
番組購入費	432 (3.7%)	361 (3.2%)	△16.4%	編成戦略に基づくアジアドラマの放送枠変更による減少
番組制作費	3,507 (30.2%)	3,493 (30.7%)	△0.4%	
放送関連費用(原価)	624 (5.4%)	547 (4.8%)	△12.3%	
放送委託費	529 (4.6%)	497 (4.4%)	△5.9%	衛星利用料の見直しによる費用減
技術費	95 (0.8%)	49 (0.4%)	△47.4%	前年のスタジオ設備更新に伴う費用の反動減
広告関連費用(販管費)	1,015 (8.7%)	706 (6.2%)	△30.5%	
広告宣伝費	971 (8.4%)	662 (5.8%)	△31.8%	出稿媒体の見直し、コスト効率を意識した広告宣伝施策の実施
販売促進費	43 (0.3%)	43 (0.4%)	—	

# 貸借対照表（個別）

		2023年8月期	2024年8月期		
			実績	前年増減額	主要な増減要因
	流動資産	16,103 (66.6%)	16,553 (65.1%)	450	・現金及び現金同等物の増加 +607百万円
	固定資産	8,091 (33.4%)	8,858 (34.9%)	767	・投資有価証券の増加 +1,309百万円
資産合計		24,195 (100.0%)	25,412 (100.0%)	1,217	
	流動負債	1,567 (6.5%)	1,815 (7.1%)	248	・未払消費税の増加 +198百万円
	固定負債	127 (0.5%)	125 (0.5%)	△2	
負債合計		1,694 (7.0%)	1,941 (7.6%)	246	
純資産合計		22,501 (93.0%)	23,471 (92.4%)	970	・利益剰余金の増加 +969百万円
負債・純資産合計		24,195 (100.0%)	25,412 (100.0%)	1,217	



➤ 自社制作番組 視聴者とクライアントのニーズに合った様々な自社制作番組をお届け

紀行・教養



エンタメ



スポーツ



報道



➤大型スポーツコンテンツの獲得



- ➡話題性の高いコンテンツとして、タイムセールス・スポットセールスを牽引
- ➡スポーツコンテンツとの親和性が高いM3層を中心に新規視聴者の獲得促進

➤その他新規特別番組等の制作



- ・新規視聴者の獲得や更なる視聴率の獲得に向けた起爆剂的役割
- ・新規広告主の獲得や休眠広告主の出稿獲得といったセールス強化の役割
- ・テレビ放送後のアーカイブ配信の実施等、配信コンテンツの拡充へ繋げる



➤ コラボレーション施策

- ➔ 質の高い内容の番組を通常より安価で制作可能に
- ➔ 共同でのイベント展開、特別番組の共同制作など新施策展開へ



制作著作 KBS京都/BS11



© KBS京都 / TOKYO MX / BS11



© KBS京都 / BS11



© KBS京都 / BS11



© びわ湖放送 / BS11



© 岐阜放送 / BS11



©KBS京都/BS11/元気な事務所



動画配信サービスを展開する(株)U-NEXTと協業



© JTBC Studios Co., Ltd. All rights reserved. Format devised by Peter Moffat for the BBC, and distributed by BBC Studios.



© JTBC studios & Jcontentree corp All rights reserved

- ➔ ドラマ・スポーツジャンルを中心としたコンテンツの拡充
- ➔ 効率的な費用投下によるコンテンツの制作



コンテンツの調達

国内ドラマ



©2021 安倍夜郎・小笠原ノ彦夜食堂2 制作委員会  
© FRANCE TÉLÉVISIONS - JLA PRODUCTIONS - BE FILMS - RTBF (Télévision belge) - 2020

中国時代劇



© 2022 China Huace Global Media Co., Ltd.

映画



© 1990「天と地と」制作委員会

アニメ



© Benesse Corporation /しまじろう

ヨーロッパミステリー



© FRANCE TÉLÉVISIONS - JLA PRODUCTIONS - BE FILMS - RTBF (Télévision belge) - 2020

韓国ドラマ



©MBC. All rights reserved.

ディスカバリーコンテンツ



© 2024 Warner Bros. Discovery, Inc. or its subsidiaries and affiliates. All rights reserved.

スポーツ



© 2020 World Wonder Ring STARDOM. All rights reserved.



当社のメイン視聴者層であるM3/F3層、M4/F4層の視聴傾向が強いドラマや映画コンテンツ、幅広い層に人気のあるディスカバリーコンテンツやアニメ作品、スポーツコンテンツを編成

➤アニメ関連施策(アニメ関連番組の放送)

《製作委員会への出資作品(2023年10月～2024年8月)》 計**35**作品に参加



+



- ➡開局以来、アニメ作品の放送を継続し、「アニメのBS11」として認知が拡大
- ➡アニソンやアニメ関連のエンタメをテーマにした番組を放送することで、アニメファンの囲い込みを図る



➤アニメ関連施策(イベントへの出展等)

全国各地のアニメイベントへ出展

・マチ★アソビvol.27

開催地:徳島県徳島市



©めいびい/SQUARE ENIX・結婚指輪物語製作委員会 ©春原ロビンソン・ひらけい/集英社・国王軍第三騎士団

・北九州ポップカルチャーフェス

開催地:福岡県北九州市



・AnimeJapan2024

開催地:東京都江東区



・とちてれ アニメフェスタ!

開催地:栃木県宇都宮市



アニメイベントの主催



© Animelo Summer Live 2023

Animelo Summer Live2023 -AXEL-

開催地:さいたまスーパーアリーナ

2021年より3年連続で主催

3日間のイベントで延べ65,000人を動員

年末年始にライブの様態をOA



Anison Days Festival 2024

開催地:LINE CUBE SHIBUYA

2018年に初開催

会場内で番組関連グッズを販売

2024年10月に番組内でOA

➔全国一歩というBSの強みを活かし、アニメファンの認知を拡大

➔激化するアニメ制作委員会への参画競争に対応すべく、各委員会へ当社が参画した場合の付加価値をPRする機会として活用

VTR

コンテンツのマルチ展開

BS11

放送コンテンツ

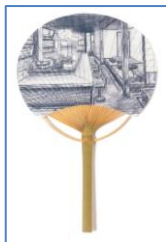


関連グッズの企画・販売

BS11 SHOP



ワールドダイスター 朗読劇アクリルスタンド 鳳 ここな&静香



太田和彦さん描き下ろし書籍掲載イラスト使用 日本居酒屋遺産 団扇(赤垣屋)



この他、番組関連グッズやBS11オリジナルグッズを多数販売中

じゅういっちゃん 今治タオル ハンカチ

自社PFでの配信



外部PFでの配信



記事サイトの活用



自社配信PF「BS11+」で配信するコンテンツを記事化して、コンテンツの魅力を発信するサイト「BS11+トピックス」を開設。

➡12万人以上が記事サイトへ来訪、BS11+へのサイト訪問へ誘導

➡引き続き放送事業を収益の軸としながらデジタル分野の収益を拡大

➡若年層を中心とした新規視聴者とのタッチポイントを増やす

➡企画段階で多面的な展開を視野に入れたコンテンツ制作力の強化

➤配信の取り組み

BS11  
放送コンテンツ



○自社PFでの配信



・月額見放題プランでの  
アーカイブ配信や、  
配信限定コンテンツの展開

○外部PFでの配信

YouTube 登録者数：約31万人  
※BS局ナンバーワン

TVer U-NEXT

FOD VideoMarket  
ビデオマーケット

・主な配信コンテンツ



Tokyo fm Life time audio 80.0

AuDee オーディー

×

TOKYO FMのデジタル音声サービス「AuDee(オーディー)」にて、『報道ライブ インサイドOUT』の音声配信を開始



➤ イベントの推進

リアル・オンラインイベント



番組発アニソンイベントの開催



公開収録



©BS11・スマド

(株)文化放送との協業



- ・各番組の視聴者と出演者との交流をはじめとした直接的なタッチポイントの創出
- ・他社・他局と共同でイベントを開催することで、効率的なコスト投下によるイベント開催を実現
- ・イベント開催を視野に入れた番組の企画、コンテンツの多面的な展開による収益拡大

➤ ビックカメラグループとのシナジー

・売上施策の1つとして、実店舗で販売中の商品をオリジナルショッピング番組内で販売

・番組やイベントの宣伝にビックカメラ店舗を活用



I	会社の基本情報	P4
II	2024年8月期 決算業績	P14
III	2025年8月期 計画(連結・個別)	P32
IV	基本戦略	P35
V	株主還元	P38



売上高は12,314百万円(前期比0.6%増)、営業利益は2,004百万円(前期比3.8%減)、  
親会社株主に帰属する当期純利益は1,407百万円(前期比3.3%減)を計画

(単位:百万円、下段は売上比)

	2024年8月期		2025年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,936 (100.0%)	12,241 (100.0%)	5,906 (100.0%)	△0.5%	12,314 (100.0%)	0.6%	73
営業利益	927 (15.6%)	2,083 (17.0%)	957 (16.2%)	3.2%	2,004 (16.3%)	△3.8%	△79
経常利益	930 (15.7%)	2,097 (17.1%)	970 (16.4%)	4.2%	2,032 (16.5%)	△3.1%	△65
親会社株主に帰属 する当期純利益	642 (10.8%)	1,455 (11.9%)	660 (11.2%)	2.8%	1,407 (11.4%)	△3.3%	△48

売上高は11,600百万円(前期比2.1%増)、営業利益は2,000百万円(前期比2.8%減)、  
当期純利益は1,406百万円を計画(前期比1.8%減)

(単位:百万円、下段は売上比)

	2024年8月期		2025年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,547 (100.0%)	11,357 (100.0%)	5,646 (100.0%)	1.8%	11,600 (100.0%)	2.1%	243
タイム収入	4,009 (72.3%)	8,262 (72.7%)	4,165 (73.8%)	3.9%	8,518 (73.4%)	3.1%	256
スポット収入	1,164 (21.0%)	2,269 (20.0%)	1,048 (18.6%)	△10.0%	2,128 (18.3%)	△6.2%	△141
その他	373 (6.7%)	825 (7.3%)	432 (7.7%)	16.0%	953 (8.2%)	15.5%	128
営業利益	920 (16.6%)	2,057 (18.1%)	992 (17.6%)	7.8%	2,000 (17.2%)	△2.8%	△57
経常利益	924 (16.7%)	2,073 (18.3%)	1,006 (17.8%)	8.9%	2,029 (17.5%)	△2.1%	△44
当期純利益	638 (11.5%)	1,432 (12.6%)	697 (12.3%)	9.2%	1,406 (12.1%)	△1.8%	△26

I	会社の基本情報	P4
II	2024年8月期 第2四半期業績	P14
III	2025年8月期 計画(連結・個別)	P32
IV	基本戦略	P35
V	株主還元	P38

知恵と知識を結集して戦略を強力に実行、  
これら6つの「力」を強化・実践

「6つの力」



「6つの力」を具現化する重点施策を  
新たに「Value 4」と位置づけ推進

A large, stylized yellow 'V' shape is the background for the right side of the slide. Four horizontal yellow bars are positioned across the 'V', each containing a 'VALUE' icon (a small bar chart) and a strategic initiative. The initiatives are: I. Content Value Improvement, II. Rebuilding 'Harvesting Power', III. Strengthening and Development of Broadcasting Peripheral Business, and IV. Strategic Investment for Corporate Value Improvement. Below each bar, a brief description of the initiative is provided.

**VALUE I. コンテンツ価値の向上**  
独自性あるコンテンツの制作と調達・編成

**VALUE II. 「稼ぐ力」の再構築**  
セールスメニュー開発の継続強化

**VALUE III. 放送周辺事業の強化と発展**  
成長分野への資源集中、多角的事業の推進

**VALUE IV. 企業価値向上のための戦略的投資**  
新たな領域への投資機会の追求、コラボレーション施策の推進



# I.コンテンツ価値の向上

# II.稼ぐ力の再構築

## >10月改編



世界遺産登録20周年 熊野古道  
「熊野の旅人 祈りのふるさとをゆく」



# III.放送周辺事業の強化と発展

# IV.企業価値向上のための戦略的投資

## >イベント

## >アニメ

## >ビックカメラグループとのシナジー

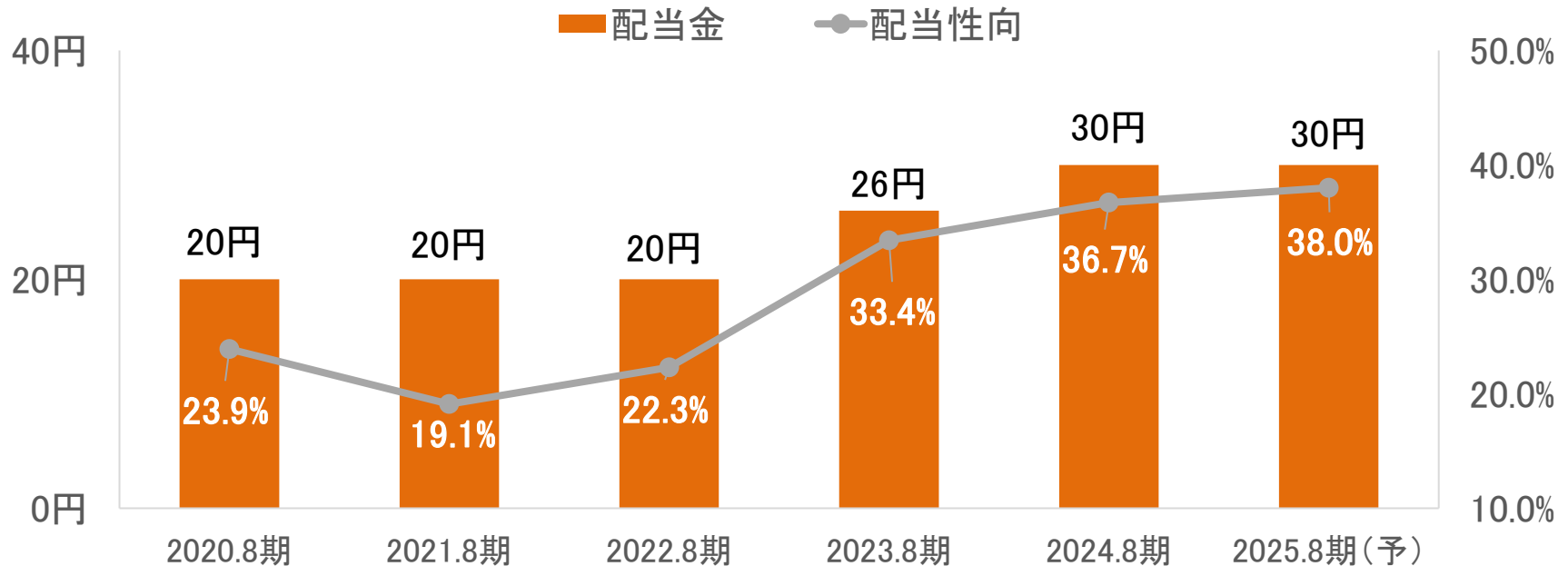


I	会社の基本情報	P4
II	2024年8月期 第2四半期業績	P14
III	2025年8月期 計画(連結・個別)	P32
IV	基本戦略	P35
V	株主還元	P38

## 2025年8月期は、期末配当金 30円を計画

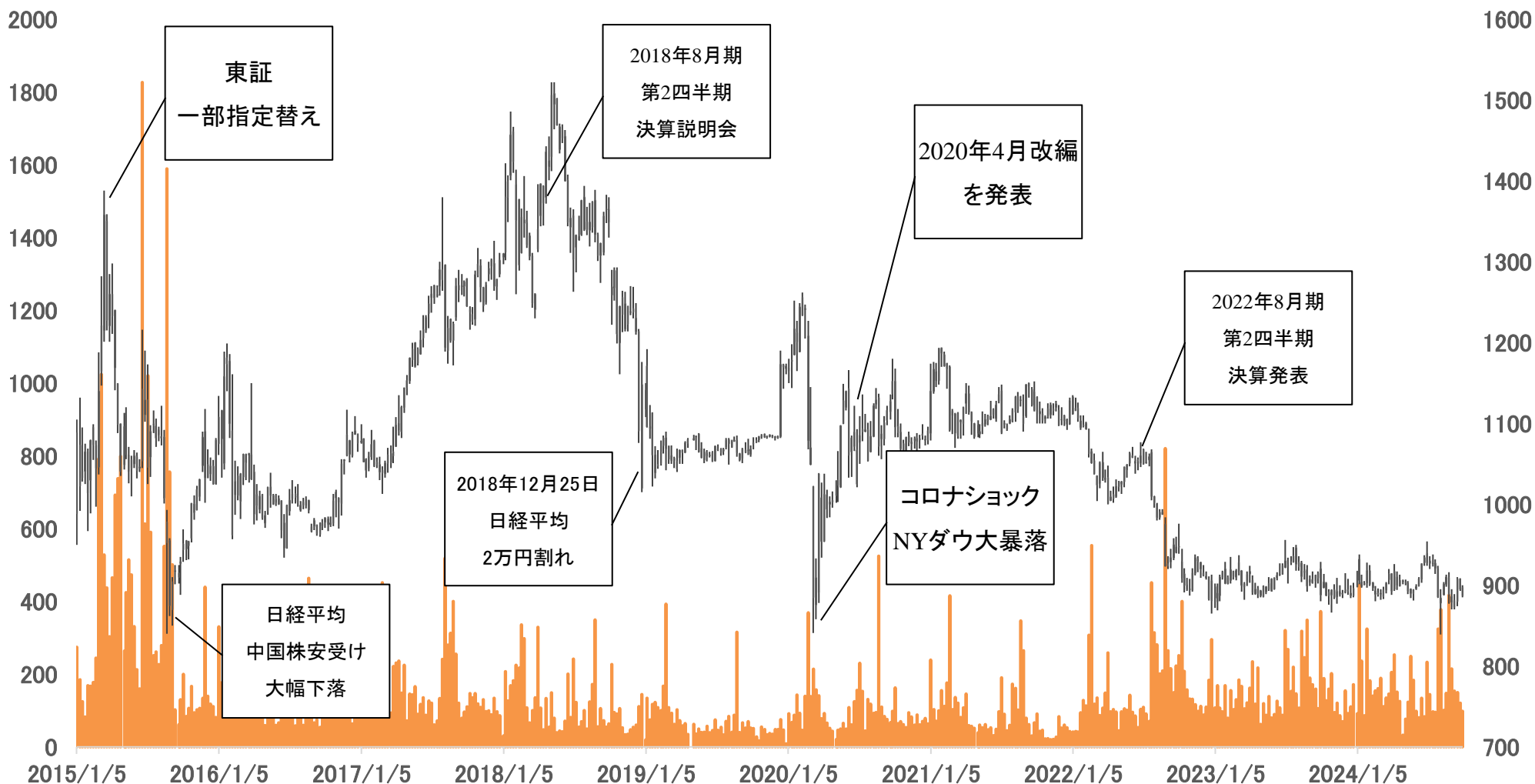
## 配当方針について

- ・ 企業価値の向上や持続的な発展に向け成長を確保する一方で、株主等ステークホルダーの期待に応えられるよう、経営資源の適切な配分を行い、配当性向40%程度を基準として、株主還元の拡充を図っていく方針です。
- ・ 年1回の期末配当を行うことを基本とします。



出来高 (千株)

(円)





- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営企画局 経営企画部

TEL 03-3518-1900

URL <https://www.bs11.jp/>

